

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	467100190
法人名	医療法人 全隆会
事業所名	指宿みどり館
所在地	鹿児島県指宿市東方7521番地3 (電話) 0993-24-5161
自己評価作成日	令和5年 2月 7日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和5年3月7日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※理念に基づき利用者様に笑顔・安心・思いやりを大切にしながら、その人らしい生活が出来る様に配慮し支援しています。 ※地域と共存して生活していける様に認知症の講演会開催や地域の方が認知症を理解出来る様に情報発信して地域貢献が出来る様に努めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは国道から少し入った所に母体医療機関や老人保健施設等に併設されており、周囲にはスーパーやコンビニエンスストア、JRの駅や市役所がある利便性に優れた地域である。

地域住民との関係も良好で、ホームの災害訓練に参加してもらったり、運営推進会議のメンバーである民生委員や公民館長等に議事録を届ける際に、積極的に意見交換を行っている。また、天気の良い日に散歩に出かけた際は、農作業中の近隣の方と挨拶や会話を交わす等、日頃より交流を図っている。

コロナ禍の為、外出を控える事業所が多い中ではあるが、屋内ばかりではストレスにつながる為、人混みの少ない場所、景色がよく利用者が喜んでくれる場所を探して一日遠足として出かける機会を設けている。また、近くにある指宿神社まで歩いたり、車椅子で出かける等、日常的に外出の機会をつくり、気分転換を兼ねた外気浴を楽しんでいる。

楽しみ事である食事は、併設する老人保健施設の管理栄養士が立てた献立を参考にしながらメニューを決めており、毎月、栄養管理指導を受けながら食事内容や食べやすい食事形態の在り方に工夫している。包丁を使って野菜の千切りをしたり、食器洗いを行う利用者がある等、利用者と職員と一緒に調理の支度や配膳下膳までを行っている。また、菜園で収穫したさつま芋でスイートポテトを作る等、食べる楽しみを大切にしながら利用者と職員が交流を深めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念については館内掲示し常日頃から目に入る様にしている。理念を念頭に置きサービス提供が出来るようにしている。	理念を玄関と事務所に掲示すると共に毎月の職員会議で唱和したり新人研修において理念を確認している。理念にある「笑顔、安心、思いやり」を大切に日々の支援に反映させている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人全体で地域に向けての認知症講演を毎年、開催して地域交流を行っている。また地域の資源ゴミ回収等にも参加して交流が出来る様に配慮している。	毎年アルツハイマー月間に合わせ地域住民を対象とした認知症に関する講演活動を法人主催で開催している。また、災害訓練に地域住民に参加してもらったり、散歩途中で挨拶を交わす等、コロナ感染状況に合わせた交流を続けている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症講演で地域の方に認知症の理解が出来る様にしている。またみどり館便りを発行する事でホームの理解を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で開催は出来ていないが資料提出時に委員の方々には助言をもらいサービス向上に繋げている。	コロナ禍の為、職員間で会議を開き報告書を委員宅を訪問し手渡し、その際に聞き取った意見を議事録にまとめ正式な書面として行政に提出している。コロナ感染症収束時には早々に委員参加による運営推進会議を開催したい意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者には常日頃から分からない事があった場合は相談している。運営推進会議の資料提出などの際も話をして協力関係が築けるようにしている。	介護関係の書類提出時や業務上判断に迷った時等に市役所に電話をかけたリ、出向く等して助言をもらっている。また、保護課とも連携を図りながら利用者への支援が適切に行われるよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については委員会を設置し定期的に話し合いをしている。玄関の施錠も夜間のみで対応し拘束しないように心掛けている。	指針である「身体拘束廃止推進委員会運営規定」を作成し、3か月毎に身体拘束廃止委員会を開催すると共に、年2回以上の研修会を実施している。また、言葉による拘束等、職員による不適切な言葉遣いに気付いた際は、管理者がタイミングを見計らい指導したり、研修会でも確認する等、注意喚起に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的にスタッフ間で話し合いをし見過ごす事のないようにしている。虐待のない様に自覚をもちながら業務に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通じて学ぶ機会を設けている。利用者様の判断能力を見極めながら対応が出来る様になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約・解約時や改定があった際は利用者や家族に対して説明し理解を得ている。来館が出来ない家族に対しても連絡し理解が得られるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族が来館された際は常に意見交換し要望を聞く様にしている。遠方で来館が出来ない家族にも電話連絡して意見がないか聞き取りし意見が反映出来る様にしている。</p>	<p>コロナ禍により家族会を実施できなかったり、面会制限をしていることもあり、家族の意見を聞く機会は減っているが、来所時には必ず意見や要望はないか尋ねたり、遠方の家族にも連絡を取り、意見をもらうようにしている。また、毎月のお便りと状況報告書を家族に送付することで意見や感想をもらう機会につなげている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者が常日頃から意見交換し意見が反映出来る様にしている。雇用改善アンケートも行い意見を出してもらい意見が反映出来る様にしている。</p>	<p>「スタッフ会議ノート」に職員の意見を自由に記入してもらい職員会議につなげるほか、半年毎に雇用改善アンケートを踏まえた個別面談を実施している。資格取得時は事務長が模擬問題を作成したり、勤務日程に配慮する等、働きやすい環境を整えている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者・法人事務長から職員の状況報告があり把握している。良い環境作りが出来る様にストレスチェック診断や雇用改善アンケートを活用して職場改善に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員には法人内外の研修に積極的に参加する様にしている。コロナ禍で十分な研修が受講出来ない状況にあるので内部研修をする事で補っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者と交流が出来る様に会合や勉強会に参加が出来る機会を作っている。参加する事でネットワーク作りしサービス向上が出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス提供前から本人・ご家族と面談し不安なことや要望等を聞き取り生活状況を把握する様に努めている。入居後も面談し関係性が築いていける様にしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの前から家族と面談を行い入所する事で不安なことや要望を聞き少しでも解消が出来るように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の要望・相談などを元に必要としている支援を見極めてケアプラン作成しサービス提供をしている。変更の必要性がある場合は見直しも検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>コミュニケーションを大切に感情表現や行動の気づきを重視している。生活の中で食事の準備や洗濯物干しや畳みを一緒にする事で関係性を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際は状況報告している。毎月、施設便り、コミュニケーションツールを使用し、状況の報告、催し物等を知らせる事で把握してもらっている。家族の方の解らない点等は相談受けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が生き生きと暮らして頂ける環境作りや、家族、知人・馴染みの場所との関わりが途切れない様に支援している。自宅がある方は遠足等で訪問したり衣替えで洋服を一緒に取りに行ったりして支援している。	友人知人との関係が途切れないよう電話や手紙の取り次ぎのほか、面会にも応じている。また、帰宅願望にも家族と連絡を取り合い自宅に帰る機会をつくる等、利用者の気持ちを大切に支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し孤立しない様に座席を決めている。職員がその人のリズムに沿った生活とレクリエーションや活動を通して、他利用者との交流で関係性を良好に保てる様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスを終了した利用者や家族に対しても関係性を大切にしている。退所の際には今後、いつでも相談に乗れる事を伝え、必要に応じて本人・家族のフォローに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望に添える様に意向の把握に努めている。困難な場合はスタッフ間で検討したりご家族とも話をして希望に添える様にしている。スタッフ会議でも協議して意向に添える様に検討している。	本人の思いや希望は、日々接する中で見せる表情や仕草等から汲み取ると共に、家族から聞き取りした生活歴を参考に把握している。また、利用者の変化等、職員の気づきを丁寧に記録し職員間で共有を図りながら支援につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族と話をして、馴染みの暮らし方・生活環境を把握し、希望に添えるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態に合わせ対応をしている。手伝い等も力量に合わせた事をしてもらっている。一日の過ごし方も状態観察をしながら変更し対応をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の言動・行動等を注意しながらモニタリングをしている。本人・家族・職員間で定期的に話をして、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプラン作成前に利用者・家族の思いや要望を尋ね重視すべきプランニング要素とするほか、毎月の職員会議で話し合われたカンファレンス結果やモニタリングも参考にしながらプランを作成している。また、身体状況に変化が見られた場合は速やかにプランを見直す等、現状に即したケアプラン作成に努めている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の体調変化や行動の変化等が見られた時は、介護ソフト内に記録して、全職員で共有出来る様にしている。又、介護計画の見直しにも活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況やその時々ニーズに対応し、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の活用として、遠足では地域の観光地を巡り、公共施設の利用や地産地消を取り入れて楽しんでもらえる様に支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の受診は本人及び家族等の希望に添って決定して普段から報告・相談を行い主治医と連携しながら支援している。</p>	<p>母体医療機関から入居につながる方が多いこともあり、現在は利用者全員が母体医療機関をかかりつけ医としている。皮膚科や歯科等、他科受診も含め、受診全般に職員が受診に同行するなど支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様の体調変化が見られた際は法人内の看護師や訪問看護しに相談している。早急な対応が出来る様に支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>定期的な面会や入院した病院関係者との連絡を行っている。密に情報を得ながら安心して過ごせる様にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所の際に重度化した場合や終末期について話をしている。希望に添った支援が出来る様に説明している。</p>	<p>「重度化対応に関する指針」の中に看取り介護への対応についての項目が組み込まれているが、これまでのところ看取りを行った事例はない。入居時に重度化や看取りについての説明と同意をもらい、事業所として取り組める支援についてを本人・家族・医療機関とも話し合い、連携を図りながら希望する支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>月一回、スタッフ会議などで急変や事故発生時の対応や流れを確認している。初期対応が遅れない様に常日頃から共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の立ち会いの下、避難訓練を実施し法人全体でも災害訓練をしている。普段から地域住民とも連携し協力体制を築いている。</p>	<p>年2回消防署立ち合いの下での火災訓練を実施するほか、法人全体での地震災害訓練を実施している。訓練には地域住民の参加も得られ、避難場所での見守りをお願いしている。備蓄は飲料水や食料等、約3日分程度備え、懐中電灯やラジオ等の備品も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格に適した声掛けを心掛けている。声掛けや対応について、常日頃から話し合いをし、否定しない対応を心掛けている。	トイレ誘導の際は耳元でさり気なく声を掛けたり、外出前等のタイミングに合わせて誘導している。職員は日頃より利用者に合わせた声掛けや支援ができるよう職員間でよく話し合い、情報を共有し連携を図りながら実践につなげている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中から本人の思いや希望を引き出し、自己決定出来る様働きかけている。話しが難しい利用者様とは表情や仕草で判断して、対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自室で過ごしたい利用者様には自室で過ごしてもらっている。本人のペースで過ごせる様に配慮しながら対応し一人一人の体調等も考慮しながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日、髭剃り・整容を行い、身だしなみに気をつける様になっている。散髪については本人の希望に添う髪型にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の行事やイベント等、献立に取り入れ食事が楽しみになるように努めている。又、利用者様一人一人に合わせた手伝いをしてもらっている。	包丁を使って野菜を切ったり、食器洗いに参加する利用者がある等、普段から調理に関する一連の工程に利用者と職員が協力して取り組んでいる。献立は併設する施設のメニューを参考に利用者の食べたいものも取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通じて食べる量、栄養バランス、水分量が確認出来る様、法人内の管理栄養士に相談し助言をもらい、利用者様の状態に応じた食事形態で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口の臭いや汚れが生じない様に週一回は必ず義歯の消毒・洗浄を行っている。毎食後、個々の状態に応じた口腔ケアを行っているが、口腔状態の悪化が見られた際は協力歯科医院に相談している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握する為、排泄チェック表を活用し失禁を未然に防ぐ様にしている。失禁やおむつ使用を減らす為、個々に合わせた声掛けやトイレ誘導を行う様にしている。	排泄チェック表を参考に個々の排泄パターンを把握し、時間をみてトイレ誘導につなげたり、パットの容量を工夫するなどして対応している。また、夜間は睡眠を妨げないように、おむつ利用の方がいる等、個々に応じた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防で散歩・体操・腹部マッサージをレクリエーションに取り入れている。便秘症の方は医師や管理栄養士に相談し、食事形態を変更したり、食後にヨーグルトを提供したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の希望を尋ねて一人ずつ時間をかけてゆっくり入浴してもらっている。個々に合った入浴を提供し楽しめる様、配慮している。	地域柄、温泉浴が楽しめる環境にある。入浴時間は15:30からと就寝に向けてリラックスできる時間帯に設定している。入浴したくないと言われた時は、声掛けの内容を工夫することで入浴につなげる等、無理強いのないよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、良く眠られるよう日中は個々に合わせた活動を行い、生活してもらっている。また個々の状態観察をしながら、生活習慣に合わせ、休息してもらうようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診後は必ず薬変更の有無を、申し送りノートに記入して全職員へ周知している。薬の変更等があった際は副作用等を把握し、状態観察を密にして変化時の対応が出来る様、職員間で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴や特技等を把握して、日々の生活を張り合いや喜び等がもてる様、手伝い等してもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年二回は一日遠足に出掛け、自然や季節を感じてもらいながら、ゆっくりした時間を過ごしてもらうようにしている。また個々の希望を把握し、普段行けない場所も遠足地に選び、楽しんでもらっている。	年2回、お弁当持参による一日遠足を実施しており、花見やフラワーパーク等、景色がよく、人混みの少ない場所を選んで出かけている。また、天候や体調に合わせて広い敷地内を散歩したり、近くにある指宿神社まで歩いて出かける等、気分転換を兼ねた外気浴を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々の希望や力に応じて買い物に同行してもらい、品物選びから支払いまでしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙を書ける利用者様には家族や大切な人に手紙を書いてもらい支援している。利用者様が電話を定期的に来れる様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様全員が目につく場所には、季節に応じて作成してもらった貼り絵等を展示している。共用の空間は利用者様が居心地良く過ごせる様、温度・湿度計を設置し、エアコン運転中は個々の意見を取り入れて温度調整している。</p>	<p>フロアには利用者と職員が一緒に作った干支であるうさぎの貼り絵や巨大な桜の作品が飾られており季節感を出している。地域柄、温泉を引いているため、入浴が楽しみとなっており、浴室にシャワーキャリーも備え、転倒のリスク軽減や介助の際の安全性にも配慮している。感染症対策としての消毒や除菌の徹底、二酸化炭素濃度計も備えている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の中で利用者様の関係性を考慮しながら座席を決定している。又ソファを配置していつでも好きな時間に座ってもらい、利用者様同士で思い思いに過ごせる様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室が狭い為、家具等の持参は出来ないが寝具やラジオ等は出来る限り使い慣れた物を持参してもらったり家族の写真を貼り居心地良く過ごせる様に配慮している。</p>	<p>エアコンやベッド、タンス、3段ボックスが備え付けられるほか、使い慣れた寝具や愛用のラジオ、読書好きな利用者は小説を持ち込む等、これまでの生活に近い環境で居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>出来る方には料理や洗濯物の手伝いをしてもらっている。またトイレが分かるように表示し分からない方には声掛けして誘導し自立した生活が出来る様に生活を工夫している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない